

特別講義「大学と社会」ガイダンス



2009.10.02

高等教育機能開発総合センター 亀野

0. 本日の予定(ガイダンス)



- ①担当教員紹介
- ②本科目の意義・内容・目的・目標
- ③本科目の意義(卒業生調査から)
- ④受講の流れと留意事項
- ⑤スケジュール
- ⑥評価について
- ⑦アンケート

1. 担当教員等



亀野 淳 (かめの じゅん) 高等教育機能開発総合センター准教授
情報教育館4階(9) TEL&FAX: 706-6928
E-Mail jkameno@high.hokudai.ac.jp

木村 純 (きむら まこと) 高等教育機能開発総合センター教授
三上 直之 (みかみ なおゆき) 高等教育機能開発総合センター准教授

徳井 美智代 (とくい みちよ) 高等教育機能開発総合センター・キャリア教育支援室インターンシップ・マネージャー

張 欣 (ちょう きん) 大学院教育学院修士課程2年
尹 雅妮 (いん がね) 大学院教育学院修士課程2年

溝端 小百合 (みぞはた さゆり)

2. 本科目の内容・意義・目的・目標

2.1 内容

- ①外部講師(卒業生:先輩)の講演
- ②外部講師の講演に対する質疑応答
- ③外部講師の講演に対するレポートの作成
- ④最終レポートの作成
- ⑤担当教員の講義 など

2.2 意義



- ✓ 卒業生(先輩)の講演から「**社会の動き**」を知ることができる。
- ✓ 「**社会の動き**」と「**大学での勉強や生活**」の関係を知らることができる。
- ✓ 卒業生(先輩)のキャリアを知ることにより、**自分のキャリアを考える材料**にすることができる。
- ✓ 上記のことから、**自らの考え、態度、勉強、生活などを考え直す**ことができる。

高校(3年)

- (受験)勉強
- 部活
- …

大学(4年～)

- 勉強
- 教養
- 専門
- 部活・サークル
- アルバイト
- 留学
- 恋
- …

社会(約50年)

- 仕事
- 家庭
- 市民

外部講師モデル

将来のことも考えながら大学生活を充実させる

自分で将来のことを考えることができる能力を身につける

2.3 目的



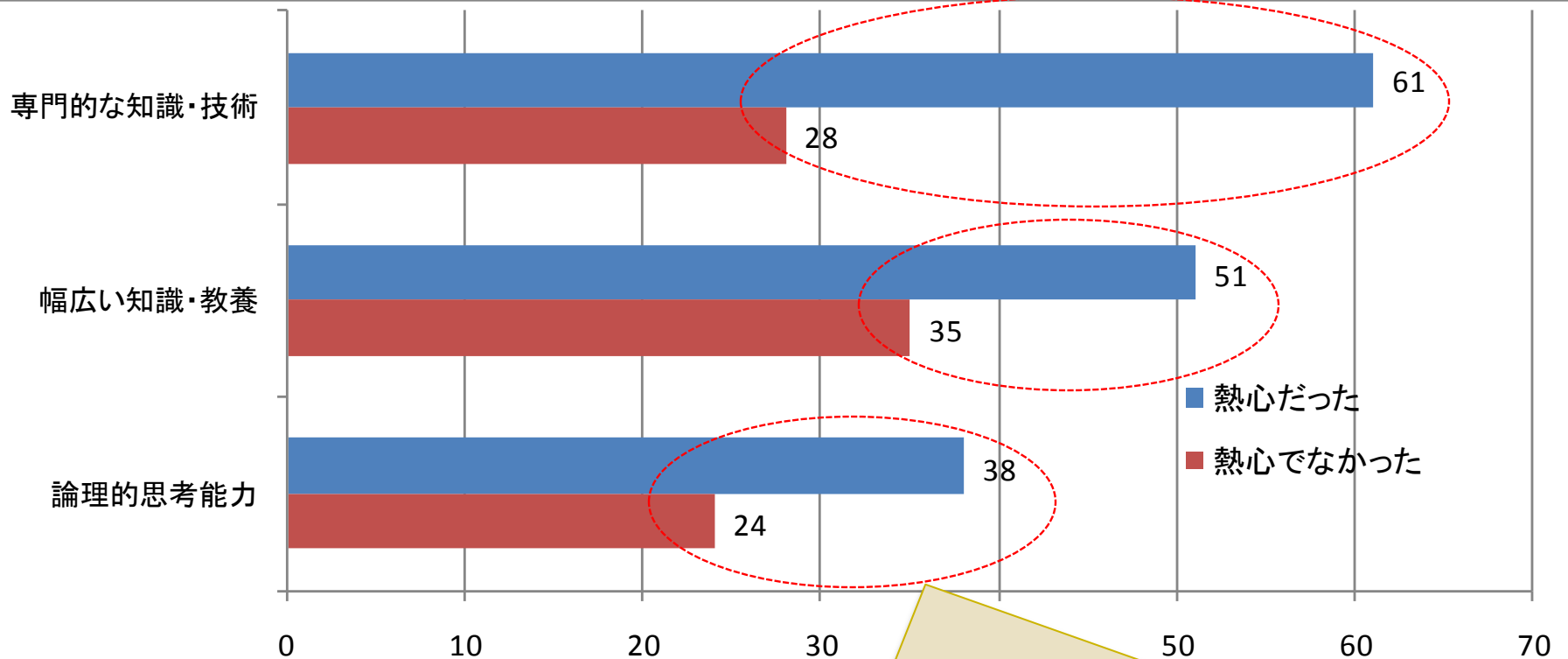
- 本授業は、北大を卒業し社会の各分野で活躍する方々を講師としてお招きし、学生時代から現在までの体験談などを話していただくが、これらを通じて、**大学生活のあり方や将来のキャリアについて自ら考える能力**を育成する。

2.4 到達目標



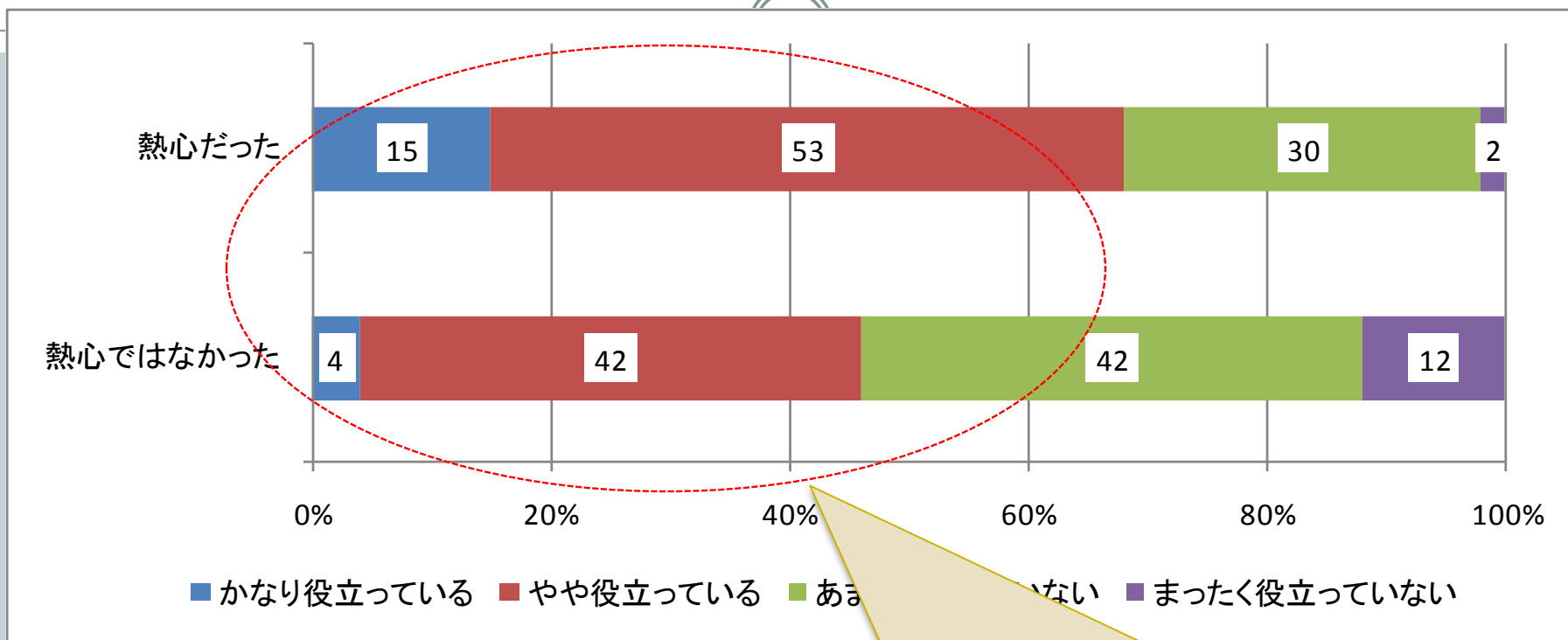
- ① 大学生生活の意義・重要性を十分考えることができる。
- ② 卒業後のキャリアを自ら考えることができる。
- ③ 毎回の講師の話に対して積極的に質問することができる。
- ④ 毎回の講師の話をもとに自分の考えをレポートにまとめることができる。
- ⑤ 将来のキャリアについてレポートにまとめることができる。

2.5 卒業生調査から 大学の勉強で得たものと勉強の関係



大学時代に熱心に勉強していた先輩の方が、大学でいろんな能力を得たと回答

「勉強の仕事への役立ち度」と「勉強の熱心度」との関係



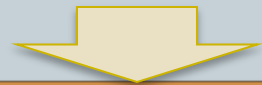
大学時代に勉強を熱心に行っていた先輩の方が、勉強は現在の仕事に役立ったと回答

3. 受講の流れ(外部講師の講義の時)と留意事項





～16:30: 学生入室

- 入口で資料(ない時もある)、受講票を受け取る(各自1枚)
- 前回のレポート提出(学部ごとのボックスに入れる)
- →着席(できる限りつめて座る)
- ※16:30以降の入室は遅刻扱い
- **※16:45以降の入室は不可**
 - 交通機関の遅れによる場合は、駅などで遅延証明証をもらってこること
 - 前の授業が延びた場合は、担当教員に言って退出するか、担当教員の証明をもらってこること



16:30頃: 講師入場、講師紹介(担当教員)



16:35～17:35:講師講義(約1時間)

- 携帯電話の電源は切るか、マナーモードにしておくこと。
- 早退は特別の事情がない限り認めない
 - 仕方なく早退する場合は、資料を受け取った入口から退出すること
- トイレに行く場合は、資料を受け取った入口から出ること。



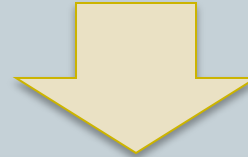
17:35～17:55:質疑応答(約20分)

- 質問を考えながら話を聞くことを心がける。



18:00:退室

- 「受講票」の提出
- 外部講師も退室するので邪魔にならないに



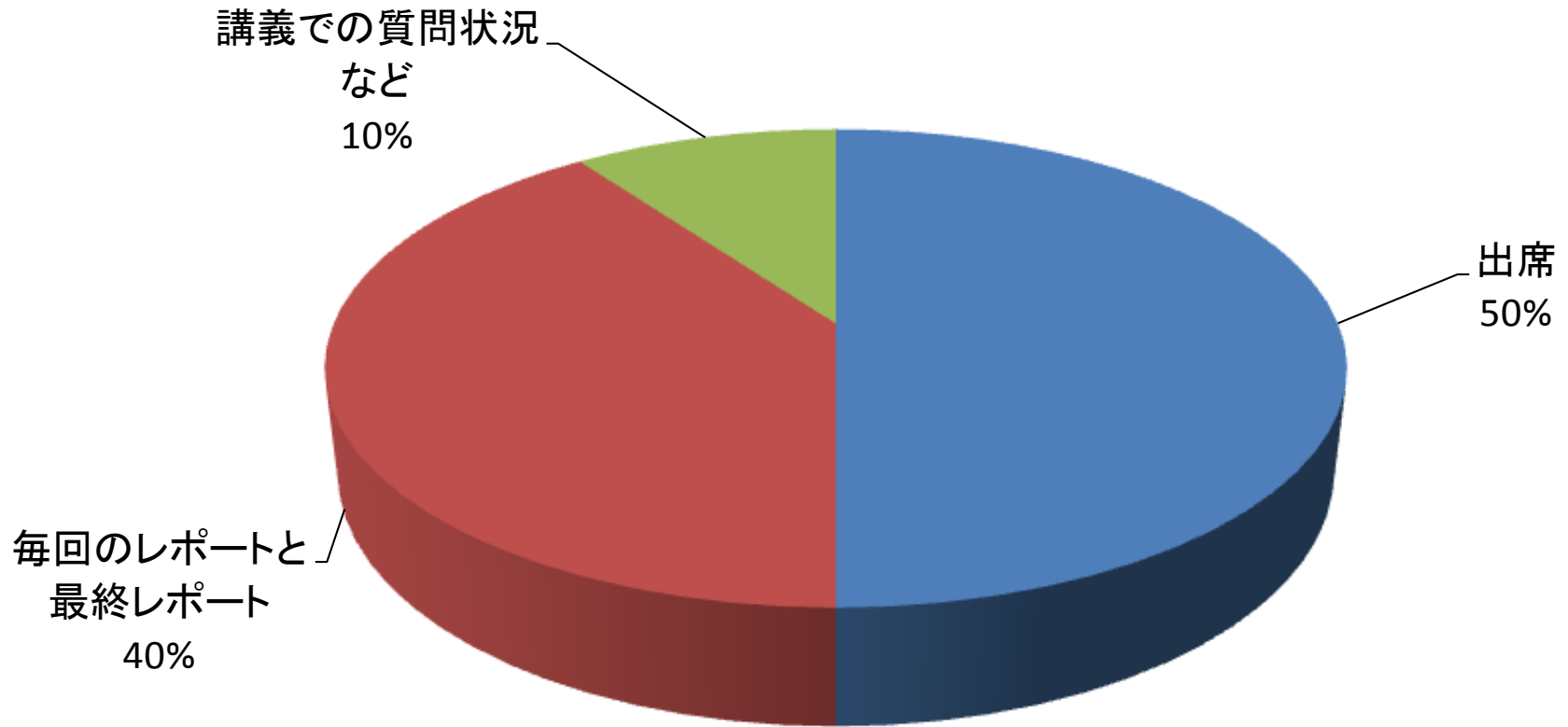
次回の授業時まで:レポート作成(復習)、予習

- レポートについて
 - 以下の点について記述すること(様式例は別紙参照)
 - ①講義で印象に残ったこと
 - ②今後の生活にプラスになったこと、プラスにしたいこと
 - ③講師へのメッセージ
 - ④質問内容(質問した人のみ)
 - A4・1枚(遵守)
 - できる限りパソコンで作成すること。不可能な場合は手書きでも可
 - 次回の授業時に入口のボックスに提出する(休んだ場合は次々回以降)
- 予習について
 - 外部講師の講演時には、事前に講師について調べておくこと。

4. スケジュール

10月2日（金）	○ガイダンス（亀野）
10月9日（金）	竹内 帆高 氏（外務省 国際協力局 開発協力総括課） ◇工学部 公共政策大学院卒
10月16日（金）	松田 勉 氏（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構安全管理監） ◇薬学部卒
10月23日（金）	坂口 唯彦 氏（坂口法律事務所 弁護士） ◇法学部卒
10月30日（金）	○未定
11月6日（金）	石塚 雅明 氏（株石塚計画デザイン事務所 代表取締役） ◇工学研究科卒
11月13日（金）	佐藤 玲 氏（有限責任監査法人トーマツ 札幌事務所） ◇会計専門職大学院卒
11月20日（金）	長沼 昭夫 氏（株きのとや 代表取締役） ◇水産学部卒
11月27日（金）	○未定
12月4日（金）	吉本 有 氏（株 毎日コミュニケーションズ） ◇文学部卒
12月11日（金）	疋田 吉織 氏（中川町自然誌博物館 主任研究員） ◇地球環境科学研究科卒
12月18日（金）	向井 猛 氏（札幌市円山動物園 獣医師） ◇獣医学部卒
1月8日（金）	○未定
1月22日（金）	○最終まとめ

5. 成績評価



(参考)平成20年度の成績分布

